

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	NECファシリティーズ株式会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	東京都港区芝二丁目22番12号
工場等の名称	NEC中部ビル
工場等の所在地	名古屋市中区錦1-17-1
業種	サービス業（他に分類されないもの）
業務部門における 建築物の主たる用途	事務所
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸ししている建築物）
事業の概要	ビル施設管理、環境整備、保険等の販売に係わる事業
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和5年5月24日 ～ 令和5年8月22日		
公表方法	○	揭示 閲覧	（場所） NEC中部ビル 1階 FM部
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-222-2188		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

【NECファシリティーズ環境方針】

◆基本方針：

NECファシリティーズは、不動産、建設、オフィス管理、プラント施設、環境、保険などの事業活動を通じて、一人ひとりの意識の向上を図り、人と地球に優しい循環型社会の形成と環境保全に貢献します。

◆行動指針：

1. 全ての事業領域において企画・計画の段階から環境・安全に配慮し、省資源、省エネルギー、廃棄物発生抑制、再利用・資源化を進め環境影響の低減に努めます。
2. 環境に関する法規制・条例や自主的な取り決め事項を順守し、お客様や社会への責任を果たします。
3. 経営活動の一環として環境目的・目標を設定し、改善活動を展開すると共に定期的に見直しを行い、環境パフォーマンスの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
4. 環境方針は、従業員への環境教育・訓練の徹底と共に、協力会社への指導・支援を含め周知し、一般の人が入手可能なように開示します。

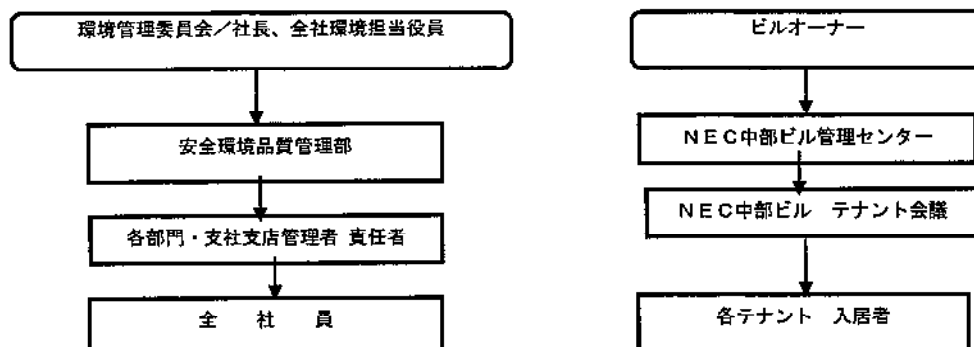
(2) 地球温暖化対策の推進体制

【NECファシリティーズの環境に関する体制】

●環境管理委員会を制定し、この委員会の方針を各事業本部・部門に展開されます。また、マネジメント革新推進部がISO14001推進と環境管理実施計画の実行をサポートします。

【NEC中部ビル環境推進体制】

NEC中部ビル環境マネジメント推進体制は、ビルオーナーをトップにNECファシリティーズが推進役の中心となり各種の会議等を活用して活動の推進を図っています。



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,464	t-CO ₂
(温室①を酸効除炭ガス換算)	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	1,464	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）				%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	1.022	t-CO ₂ / 人	0.9913	t-CO ₂ / 人	1.01	t-CO ₂ / 人		t-CO ₂ / 人
削減率（対基準年度）			3.0	%	1.2	%		%
原単位あたりのみなし排出量						t-CO ₂ / 人		t-CO ₂ / 人
削減率（対基準年度）						%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

外調機の省エネ運転、及び共用エリアの空調運転時間見直しによりガス使用量増加を最小限に抑えることができた。また、入居者不在エリアの照明・空調の停止を徹底の周知徹底を図ることにより、温室効果ガス一人あたりの排出量を-1.2%とする事が出来た。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

[illegible]

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目（令和 4 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

NECファシリティーズではNECエコ・アクションプラン2025を計画・策定し、地球温暖化対策としての具体的な施策と目標を明確にしている。また、全社員を対象にした環境教育を実施し環境意識の向上を継続して図っている。
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

○省エネルギー（昼休み天井照明、OA機器停止、最終退場時の機器電源消し忘れ防止） ○夜間、休日はエレベータの稼働台数を半分に削減
